

第 1 回委員会資料の修正について

○事業評価（1/5）－ 管路施設の修繕・改築－ 実施状況

（修正前）

- 長寿命化計画で定めた 3 億円/年の改築事業費については、ストックマネジメント計画策定により、令和 6 年度以降は 5 億円/年の改築事業費が見込まれる。

（修正後）

- 長寿命化計画では健全度を維持するために 3 億円/年の改築事業費を見込んでいたが、計画通りの改築ができていない。
- 改築事業費についてはストックマネジメント計画策定においてシナリオを見直し、令和 6 年度以降は 5 億円/年の改築事業費が見込まれる。

○財務評価－ 評価（案）

（修正前）

- 歳出（支出コロナウイルスの影響や建設事業の内容変更等により、単年度ごとの計画値と実績値には差異が生じているものの、概ね当初予定通りの事業費を執行している。
- 市債（企業債）については、建設費の減により、発行額及び市債残高が減少している。
- 基金積立金がコロナウイルスの影響により計画通りに積立てられていないことから、今後の大規模建設事業等に向けた資金確保が必要となる。
- 今後は令和 2 年度に導入した公営企業会計に基づき、下水道事業経営の健全化に向けた取り組みを進めていくことが期待される。

（修正後）

- 管路施設の修繕・改築が計画通りに実施できていないため、今後は国庫補助金や都補助金を確保しながら、ストックマネジメント計画に基づいた着実な事業推進が求められる。
- 市債（企業債）については、事業執行の影響により発行額及び市債残高が減少しているものの、今後は事業費の増加に伴う企業債の増加への対応が求められる。
- 基金積立金がコロナウイルスの影響等により計画通りに積立てられていないことから、今後の大規模建設事業等に向けた資金確保が必要となる。
- 今後は令和 2 年度に導入した公営企業会計に基づき、下水道事業経営の健全化に向けた取り組みを進めていくことが期待される。